

## 堤下の大鳥居と竹屋の渡し

所在地 墨田区向島二丁目一番 墨田公園内

隅田川七福神めぐりや桜の花見など、墨堤の散策は行楽好きの江戸市民に人気がありました。そのランドマークの一つとされたのが三囲（みめぐり）神社の鳥居で、堤下の大鳥居として親しまれていました。土手の下にあっただにもかかわらず、対岸からでも鳥居の貫（ぬき）より上が見えられるほどの大きなもので、桜の咲く頃には花に囲まれて見える様はたいへん風情があり、歌舞伎の背景や多くの浮世絵などの題材として描かれています。現在のものは文久二年（一八六二）の建立です。

三囲（みめぐり）参詣には吾妻橋を利用する場合と、隅田川を舟で渡る方法とがありました。渡しは、ちょうどこの大鳥居がある土手下辺りの岸と、浅草山谷堀（さんやぼり）入口の待乳山（まっちやま）下とを結ぶもので、竹屋の渡しと呼ばれていました。竹屋の渡しの名は、山谷堀側の船宿「竹屋」に由来します。墨堤側には「都鳥」という掛茶屋があり、舟を出してもらうために「たけや」と呼びかける女将の美声が参拝客の評判であつたとも伝えられています。昭和五年（一九三〇）、言問橋の開通によりこの渡しは廃止されました。

平成二十年二月

墨田区教育委員会